

平成 30 年度 教職大学院 A 日程入学試験

【教育に関する小論文】

◆ 以下に示す A、B の二つの課題に答えなさい。

別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】を論述すること。

【課題 A】

東京都教育委員会は、大きく 5 つの領域から成る「東京都教職課程カリキュラム」を策定している。下に示した表は、その中の領域 3 「教育課題への対応に関する領域」の内容を示したものである。

あなたが特に重視する教育課題を、たとえば (1) の①、(3)、(4) の⑤というように 3 つを選択し、それぞれについて選択した理由を述べなさい。

領域 3 「教育課題への対応に関する領域」
(1) 全ての児童・生徒が学び成長し続けられる教育の実現
① 児童・生徒の学力向上 ② 教育の機会均等の確保 ③ 日本語指導が必要な児童・生徒の指導
(2) 新しい価値を創造する力を育む教育の推進
① 持続可能な社会の担い手を育成する教育の推進
(3) 世界で活躍できる人材の育成
(4) 社会的自立に必要な力を育む教育の推進
① 人権教育の充実 ② 道徳教育の充実 ③ キャリア教育の充実 ④ 防災教育の充実 ⑤ 児童・生徒の体力向上
(5) 悩みや課題を抱える児童・生徒に対するサポートの充実
① いじめの未然防止・早期発見・早期対応・重大事態への対処 ② 自殺防止 ③ 不登校対策
(6) 障害のある児童・生徒の多様なニーズに応える教育の実現
(7) オリンピック・パラリンピック教育の推進
(8) 児童・生徒の学びを支える教員力・学校力の強化

【課題 B】

平成 30 年度より小学校で、平成 31 年度より中学校で「特別の教科 道徳」が完全実施される。「道徳の時間」から「特別の教科 道徳」への変更について、変更するに至った理由と変更されることによって内容がどう変わるのかを述べなさい。

平成 30 年度 教職大学院 B 日程入学試験

【教育に関する小論文】

◆ 以下に示す A、B の二つの課題に答えなさい。

別紙、解答用紙の表面に【課題 A】、裏面に【課題 B】を論述すること。

【課題 A】

平成 29 年 3 月に公示された小・中学校学習指導要領では、全ての教科等を①知識及び技能、②思考力、判断力、表現力等、③学びに向かう力、人間性等の 3 つの柱で再整理している。

〈国語・社会・算数（数学）・理科・生活・英語・音楽・図工（美術）・技術・家庭・体育・道徳・外国語活動・総合的な学習の時間・特別活動〉のうちから 1 つの教科または領域を選んで、「②思考力、判断力、表現力等」と「③学びに向かう力、人間性等」をそれぞれどのように捉えているか、述べなさい。

【課題 B】

児童生徒の効果的なアクティブ・ラーニングを実践するためには、学級経営が重要と言われている。効果的なアクティブ・ラーニングと学級経営の関連をふまえ、あなたはどのようなことに重点を置き、学級づくりをしようと考えているか、具体的に述べなさい。